

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛知県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター	2	西尾市	西尾市民病院	20
-	愛知病院	3	蒲郡市	蒲郡市民病院	21
-	循環器呼吸器病センター	4	常滑市	常滑市民病院	22
-	がんセンター	5	小牧市	小牧市民病院	23
-	あいち小児保健医療総合センター	6	稲沢市	稲沢市民病院	24
名古屋市	東部医療センター	7	新城市	新城市民病院	25
名古屋市	西部医療センター	8	知多市	知多市民病院	26
名古屋市	緑市民病院	9	高浜市	市立病院	27
豊橋市	豊橋市民病院	10	みよし市	みよし市民病院	28
岡崎市	岡崎市民病院	11	あま市	あま市民病院	29
岡崎市	岡崎市立愛知病院	12	公立陶生病院組合	公立陶生病院	30
一宮市	一宮市立市民病院	13	西知多医療厚生組合（事業会計分）	西知多総合病院	31
一宮市	一宮市立木曾川市民病院	14			
半田市	半田病院	15			
春日井市	春日井市民病院	16			
豊川市	豊川市民病院	17			
津島市	津島市民病院	18			
碧南市	碧南市民病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,688 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	273	55.6	66.9	71.7
感染症	-	-	-	-
計	273	55.6	66.9	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,542,415	
決算規模(千円)	2,557,350,778	
標準財政規模(千円)	1,373,511,332	
財政力指数	0.91216	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	185.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.5
修正医業収益(千円)	2,019,570

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,888,340			
1 経常収益	3,888,340			
(1) 医業収益	2,064,054			
入院収益	1,462,090			
外来収益	548,418			
診療収入計	2,010,508			
その他医業収益	53,546			
(うち他会計負担金)	44,484			
(2) 医業外収益	1,824,286			
(うち国・都道府県補助金)	778,819			
(うち他会計補助・負担金)	888,994			
(うち長期前受金戻入)	60,764			
(うち資本費繰入収益)	77,260			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,898,158			
2 経常費用	3,898,158			
(1) 医業費用	3,703,930			
職員給与費	2,324,514	112.6	62.1	104.8
材料費	288,186	14.0	25.3	8.7
(うち薬品費)	250,235	12.1	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,896	1.7	11.4	1.3
減価償却費	485,271	23.5	9.5	13.5
経費	602,409	29.2	22.7	33.3
(うち委託料)	399,812	19.4	12.6	18.6
研究研修費	2,571			
資産減耗費	979			
(2) 医業外費用	194,228			
(うち支払利息)	59,592	2.9	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-9,818			
純損益	-9,818			
累積欠損金	13,298,038			
経常収支比率	99.7		101.9	101.4
医業収支比率	55.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.0		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	45.2		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	24.0		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	75.8		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	47,207,542
1 固定資産	40,652,772
(1) 有形固定資産	38,804,509
(2) 無形固定資産	13,439
(3) 投資その他の資産	1,834,824
2 流動資産	6,554,770
(1) 現金及び預金	794,879
(2) 未収金及び未収収益	5,620,728
(3) 貸倒引当金( )	104,069
(4) 貯蔵品	243,169
3 繰延資産	-
負債合計	45,988,004
1 固定負債	33,062,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,267,576
(2) その他の企業債	920,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,300,000
(6) 引当金	6,082,133
(7) リース債務	493,098
2 流動負債	8,037,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,704,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,114,931
(6) リース債務	712,412
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,269,893
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,887,672
(1) 長期前受金	10,269,273
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,381,601
資本合計	1,219,538
1 資本金	46,110,007
2 剰余金	-44,890,469
(1) 資本金剰余金	1,027,903
(2) 利益剰余金	-45,918,372
負債・資本合計	47,207,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	933,133	933,478
資本勘定繰入	80,450	80,450
計	1,013,583	1,013,928

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名					
病院名 愛知病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	24.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	17.5
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	22.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	7,542,415	
決算規模(千円)	2,557,350,778	
標準財政規模(千円)	1,373,511,332	
財政力指数	0.91216	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	185.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.8
修正医業収益(千円)	7,000

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,678,240			
1 経常収益	928,381			
(1) 医業収益	7,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	7,000			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	921,381			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	30,719			
(うち長期前受金戻入)	3,002			
(うち資本費繰入収益)	180,804			
(3) 特別利益	749,859			
(うち他会計繰入金)	124,686			
総費用	1,017,400			
2 経常費用	901,501			
(1) 医業費用	860,294			
職員給与費	703,512	10050.2	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	155,887	2227.0	9.5	10.2
経費	895	12.8	22.7	28.2
(うち委託料)	168	2.4	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	41,207			
(うち支払利息)	24,060	343.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	115,899			
損益				
経常損益	26,880			
純損益	660,840			
累積欠損金	10,647,733			
経常収支比率	103.0		101.9	99.9
医業収支比率	0.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	438.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	99.6		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,405	155,405
資本勘定繰入	262,004	262,004
計	417,409	417,409

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名					
病院名 循環器呼吸器病センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,542,415	
決算規模(千円)	2,557,350,778	
標準財政規模(千円)	1,373,511,332	
財政力指数	0.91216	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	185.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	165,229			
1 経常収益	165,229			
(1) 医業収益	160,823			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	160,823			
(うち他会計負担金)	160,823			
(2) 医業外収益	4,406			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	3,357			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,436			
2 経常費用	2,436			
(1) 医業費用	527			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	527	0.3	22.7	47.1
(うち委託料)	526	0.3	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,909			
(うち支払利息)	449	0.3	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	162,793			
純損益	162,793			
累積欠損金	9,606,404			
経常収支比率	6782.8		101.9	98.5
医業収支比率	30516.7		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	97.3		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	100.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	97.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	180.9		89.3	64.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	160,823	160,823
資本勘定繰入	3,357	3,357
計	164,180	164,180

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名				
病院名	がんセンター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	72,941 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	27	指定病院の状況	臨ガ	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	500	68.4	75.0	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	68.4	75.0	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	12.0	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	7,542,415	
決算規模(千円)	2,557,350,778	
標準財政規模(千円)	1,373,511,332	
財政力指数	0.91216	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	185.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	19,096,415

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,697,288			
1 経常収益	23,697,288			
(1) 医業収益	20,207,683			
入院収益	8,748,638			
外来収益	9,430,326			
診療収入計	18,178,964			
その他医業収益	2,028,719			
(うち他会計負担金)	1,111,268			
(2) 医業外収益	3,489,605			
(うち国・都道府県補助金)	86,162			
(うち他会計補助・負担金)	1,773,953			
(うち長期前受金戻入)	105,140			
(うち資本費繰入収益)	797,730			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,255,455			
2 経常費用	23,255,455			
(1) 医業費用	22,062,227			
職員給与費	8,514,466	42.1	62.1	55.8
材料費	8,750,673	43.3	25.3	29.8
(うち薬品費)	6,751,848	33.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,919,451	9.5	11.4	13.0
減価償却費	1,485,992	7.4	9.5	8.7
経費	2,791,480	13.8	22.7	19.7
(うち委託料)	1,626,131	8.0	12.6	12.6
研究研修費	506,184			
資産減耗費	13,432			
(2) 医業外費用	1,193,228			
(うち支払利息)	44,954	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	441,833			
純損益	441,833			
累積欠損金	1,521,267			
経常収支比率	101.9		101.9	102.5
医業収支比率	91.6		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.5		89.3	93.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	47,207,542
1 固定資産	40,652,772
(1) 有形固定資産	38,804,509
(2) 無形固定資産	13,439
(3) 投資その他の資産	1,834,824
2 流動資産	6,554,770
(1) 現金及び預金	794,879
(2) 未収金及び未収収益	5,620,728
(3) 貸倒引当金( )	104,069
(4) 貯蔵品	243,169
3 繰延資産	-
負債合計	45,988,004
1 固定負債	33,062,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,267,576
(2) その他の企業債	920,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,300,000
(6) 引当金	6,082,133
(7) リース債務	493,098
2 流動負債	8,037,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,704,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,114,931
(6) リース債務	712,412
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,269,893
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,887,672
(1) 長期前受金	10,269,273
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,381,601
資本合計	1,219,538
1 資本金	46,110,007
2 剰余金	-44,890,469
(1) 資本金剰余金	1,027,903
(2) 利益剰余金	-45,918,372
負債・資本合計	47,207,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,817,546	2,885,221
資本勘定繰入	824,966	827,798
計	3,642,512	3,713,019

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名				
病院名	あいち小児保健医療総合センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	27,437 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上~300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	200	56.7	62.9	61.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	56.7	62.9	61.1
平均在院日数(一般病床のみ)		5.0	5.1	5.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,542,415	
決算規模(千円)	2,557,350,778	
標準財政規模(千円)	1,373,511,332	
財政力指数	0.91216	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	185.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,759,606			
1 経常収益	10,759,606			
(1) 医業収益	8,101,869			
入院収益	5,039,612			
外来収益	1,980,281			
診療収入計	7,019,893			
その他医業収益	1,081,976			
(うち他会計負担金)	1,022,544			
(2) 医業外収益	2,657,737			
(うち国・都道府県補助金)	227,445			
(うち他会計補助・負担金)	1,449,059			
(うち長期前受金戻入)	95,865			
(うち資本費繰入収益)	839,192			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,323,725			
2 経常費用	11,323,725			
(1) 医業費用	10,767,166			
職員給与費	5,339,290	65.9	62.1	66.1
材料費	2,505,357	30.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	1,470,666	18.2	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,030,266	12.7	11.4	9.3
減価償却費	1,049,039	12.9	9.5	10.2
経費	1,834,440	22.6	22.7	28.2
(うち委託料)	994,811	12.3	12.6	13.6
研究研修費	22,590			
資産減耗費	16,450			
(2) 医業外費用	556,559			
(うち支払利息)	127,842	1.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-564,119			
純損益	-564,119			
累積欠損金	10,844,930			
経常収支比率	95.0		101.9	99.9
医業収支比率	75.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	23.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	73.2		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	47,207,542
1 固定資産	40,652,772
(1) 有形固定資産	38,804,509
(2) 無形固定資産	13,439
(3) 投資その他の資産	1,834,824
2 流動資産	6,554,770
(1) 現金及び預金	794,879
(2) 未収金及び未収収益	5,620,728
(3) 貸倒引当金( )	104,069
(4) 貯蔵品	243,169
3 繰延資産	-
負債合計	45,988,004
1 固定負債	33,062,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,267,576
(2) その他の企業債	920,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,300,000
(6) 引当金	6,082,133
(7) リース債務	493,098
2 流動負債	8,037,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,704,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,114,931
(6) リース債務	712,412
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,269,893
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,887,672
(1) 長期前受金	10,269,273
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,381,601
資本合計	1,219,538
1 資本金	46,110,007
2 剰余金	-44,890,469
(1) 資本金剰余金	1,027,903
(2) 利益剰余金	-45,918,372
負債・資本合計	47,207,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.7
修正医業収益(千円)	7,079,325

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,460,914	2,471,603
資本勘定繰入	848,311	850,614
計	3,309,225	3,322,217

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	名古屋市				
病院名	東部医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,244 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	488	71.2	77.4	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	64.2	11.1	-
計	498	71.0	76.0	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.6	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,332,176	
決算規模(千円)	1,496,380,572	
標準財政規模(千円)	654,510,356	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	104.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,664,004			
1 経常収益	15,902,939			
(1) 医業収益	12,134,364			
入院収益	8,897,314			
外来収益	2,377,030			
診療収入計	11,274,344			
その他医業収益	860,020			
(うち他会計負担金)	596,672			
(2) 医業外収益	3,768,575			
(うち国・都道府県補助金)	1,757,675			
(うち他会計補助・負担金)	1,352,641			
(うち長期前受金戻入)	503,639			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,761,065			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,669,263			
2 経常費用	16,292,631			
(1) 医業費用	15,620,678			
職員給与費	7,936,353	65.4	62.1	59.8
材料費	3,435,101	28.3	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,098,624	9.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,248,338	18.5	11.4	12.4
減価償却費	1,944,373	16.0	9.5	8.2
経費	2,178,379	18.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,243,257	10.2	12.6	10.2
研究研修費	45,947			
資産減耗費	80,525			
(2) 医業外費用	671,953			
(うち支払利息)	112,634	0.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	376,632			
損益				
経常損益	-389,692			
純損益	1,994,741			
累積欠損金	7,331,215			
経常収支比率	97.6		101.9	103.7
医業収支比率	77.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	85.6		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	62,889,035
1 固定資産	53,915,130
(1) 有形固定資産	53,913,452
(2) 無形固定資産	1,415
(3) 投資その他の資産	263
2 流動資産	8,973,905
(1) 現金及び預金	2,645,637
(2) 未収金及び未収収益	6,276,276
(3) 貸倒引当金( )	97,513
(4) 貯蔵品	149,505
3 繰延資産	-
負債合計	48,710,175
1 固定負債	38,625,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,667,089
(2) その他の企業債	270,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,931
(7) リース債務	54,744
2 流動負債	8,045,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,089,065
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	935,670
(6) リース債務	26,046
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,337,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,039,071
(1) 長期前受金	14,856,981
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,817,910
資本合計	14,178,860
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-5,694,625
(1) 資本金剰余金	2,349,166
(2) 利益剰余金	-8,043,791
負債・資本合計	62,889,035
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.9
修正医業収益(千円)	11,537,692

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,949,571	1,949,313
資本勘定繰入	279,521	272,216
計	2,229,092	2,221,529

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	名古屋市				
病院名	西部医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,591 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	500	71.8	80.7	82.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	71.8	80.7	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.2	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,332,176	
決算規模(千円)	1,496,380,572	
標準財政規模(千円)	654,510,356	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	104.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収益(千円)	15,471,352

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,097,175			
1 経常収益	19,246,252			
(1) 医業収益	15,904,361			
入院収益	8,958,064			
外来収益	6,121,008			
診療収入計	15,079,072			
その他医業収益	825,289			
(うち他会計負担金)	433,009			
(2) 医業外収益	3,341,891			
(うち国・都道府県補助金)	652,831			
(うち他会計補助・負担金)	1,879,071			
(うち長期前受金戻入)	634,188			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,850,923			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,779,055			
2 経常費用	18,776,699			
(1) 医業費用	17,727,467			
職員給与費	8,146,409	51.2	62.1	55.8
材料費	4,354,209	27.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,619,802	16.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,655,050	10.4	11.4	13.0
減価償却費	2,068,781	13.0	9.5	8.7
経費	3,096,691	19.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,885,197	11.9	12.6	12.6
研究研修費	32,532			
資産減耗費	28,845			
(2) 医業外費用	1,049,232			
(うち支払利息)	344,588	2.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,356			
損益				
経常損益	469,553			
純損益	3,318,120			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		101.9	102.5
医業収支比率	89.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	90.2		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	62,889,035
1 固定資産	53,915,130
(1) 有形固定資産	53,913,452
(2) 無形固定資産	1,415
(3) 投資その他の資産	263
2 流動資産	8,973,905
(1) 現金及び預金	2,645,637
(2) 未収金及び未収収益	6,276,276
(3) 貸倒引当金( )	97,513
(4) 貯蔵品	149,505
3 繰延資産	-
負債合計	48,710,175
1 固定負債	38,625,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,667,089
(2) その他の企業債	270,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,931
(7) リース債務	54,744
2 流動負債	8,045,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,089,065
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	935,670
(6) リース債務	26,046
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,337,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,039,071
(1) 長期前受金	14,856,981
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,817,910
資本合計	14,178,860
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-5,694,625
(1) 資本金剰余金	2,349,166
(2) 利益剰余金	-8,043,791
負債・資本合計	62,889,035
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,302,362	2,312,080
資本勘定繰入	822,595	818,708
計	3,124,957	3,130,788

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	名古屋市				
病院名	緑市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,675 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	52.8	61.9	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	52.8	61.9	61.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	13.7	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,332,176	
決算規模(千円)	1,496,380,572	
標準財政規模(千円)	654,510,356	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	104.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.8
修正医業収益(千円)	3,394

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	343,849			
1 経常収益	343,719			
(1) 医業収益	6,646			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	6,646			
(うち他会計負担金)	3,252			
(2) 医業外収益	337,073			
(うち国・都道府県補助金)	1,672			
(うち他会計補助・負担金)	207,167			
(うち長期前受金戻入)	99,246			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	130			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	448,815			
2 経常費用	448,815			
(1) 医業費用	435,694			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	215,288	3239.4	9.5	10.0
経費	216,971	3264.7	22.7	21.7
(うち委託料)	3,430	51.6	12.6	12.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	3,435	-	-	-
(2) 医業外費用	13,121	-	-	-
(うち支払利息)	12,456	187.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-105,096			
純損益	-104,966			
累積欠損金	2,364,078			
経常収支比率	76.6		101.9	101.7
医業収支比率	1.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	61.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	3166.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	61.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	29.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	62,889,035
1 固定資産	53,915,130
(1) 有形固定資産	53,913,452
(2) 無形固定資産	1,415
(3) 投資その他の資産	263
2 流動資産	8,973,905
(1) 現金及び預金	2,645,637
(2) 未収金及び未収収益	6,276,276
(3) 貸倒引当金( )	97,513
(4) 貯蔵品	149,505
3 繰延資産	-
負債合計	48,710,175
1 固定負債	38,625,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,667,089
(2) その他の企業債	270,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	22,931
(7) リース債務	54,744
2 流動負債	8,045,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,089,065
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	935,670
(6) リース債務	26,046
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,337,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,039,071
(1) 長期前受金	14,856,981
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,817,910
資本合計	14,178,860
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-5,694,625
(1) 資本金剰余金	2,349,166
(2) 利益剰余金	-8,043,791
負債・資本合計	62,889,035
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	210,419	210,419
資本勘定繰入	88,411	88,411
計	298,830	298,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名	豊橋市			
病院名	豊橋市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	63,131 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感へ災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	780	80.1	90.5	87.9
療養	-	-	-	-
結核	10	36.8	27.8	35.9
精神	-	-	-	-
感染症	10	63.8	4.0	-
計	800	79.4	88.6	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	371,920	
決算規模(千円)	174,728,401	
標準財政規模(千円)	74,283,455	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	46.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.7
修正医業収益(千円)	28,853,388

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	33,977,117			
1 経常収益	33,473,126			
(1) 医業収益	29,524,979			
入院収益	16,679,951			
外来収益	11,557,868			
診療収入計	28,237,819			
その他医業収益	1,287,160			
(うち他会計負担金)	671,591			
(2) 医業外収益	3,948,147			
(うち国・都道府県補助金)	2,358,122			
(うち他会計補助・負担金)	811,596			
(うち長期前受金戻入)	544,527			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	503,991			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	32,444,724			
2 経常費用	32,382,509			
(1) 医業費用	31,126,640			
職員給与費	13,057,120	44.2	62.1	55.8
材料費	11,183,842	37.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	7,306,046	24.7	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,875,321	13.1	11.4	13.0
減価償却費	2,374,567	8.0	9.5	8.7
経費	4,374,400	14.8	22.7	19.7
(うち委託料)	2,681,318	9.1	12.6	12.6
研究研修費	76,565			
資産減耗費	60,146			
(2) 医業外費用	1,255,869			
(うち支払利息)	311,346	1.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	62,215			
損益				
経常損益	1,090,617			
純損益	1,532,393			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.4		101.9	102.5
医業収支比率	94.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	98.8		89.3	93.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,057,432
1 固定資産	28,720,120
(1) 有形固定資産	27,403,127
(2) 無形固定資産	496,534
(3) 投資その他の資産	820,459
2 流動資産	11,337,312
(1) 現金及び預金	5,299,684
(2) 未収金及び未収収益	6,021,476
(3) 貸倒引当金( )	15,669
(4) 貯蔵品	31,075
3 繰延資産	-
負債合計	26,659,019
1 固定負債	16,910,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,911,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,648,989
(7) リース債務	350,424
2 流動負債	6,752,177
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,325,591
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	766,429
(6) リース債務	377,985
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,161,834
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,995,968
(1) 長期前受金	18,176,889
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,180,921
資本合計	13,398,413
1 資本金	9,212,942
2 剰余金	4,185,471
(1) 資本金剰余金	379,420
(2) 利益剰余金	3,806,051
負債・資本合計	40,057,432
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,483,309	1,483,187
資本勘定繰入	1,376,518	1,351,432
計	2,859,827	2,834,619

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛知県	
市町村・組合名	岡崎市		
病院名	岡崎市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	62,940 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	40	指定病院の状況	救臨がへ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	680	75.0	79.5	81.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	680	75.0	79.5	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.9	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	384,654	
決算規模(千円)	171,145,370	
標準財政規模(千円)	77,737,003	
財政力指数	1.04	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,248,910			
1 経常収益	22,859,962			
(1) 医業収益	20,445,472			
入院収益	12,725,604			
外来収益	6,959,231			
診療収入計	19,684,835			
その他医業収益	760,637			
(うち他会計負担金)	318,531			
(2) 医業外収益	2,414,490			
(うち国・都道府県補助金)	443,417			
(うち他会計補助・負担金)	1,013,143			
(うち長期前受金戻入)	529,953			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	388,948			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,017,507			
2 経常費用	23,950,426			
(1) 医業費用	22,761,991			
職員給与費	10,834,462	53.0	62.1	55.8
材料費	6,315,391	30.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,167,281	15.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,143,800	15.4	11.4	13.0
減価償却費	1,784,361	8.7	9.5	8.7
経費	3,775,188	18.5	22.7	19.7
(うち委託料)	2,160,660	10.6	12.6	12.6
研究研修費	35,789			
資産減耗費	16,800			
(2) 医業外費用	1,188,435			
(うち支払利息)	180,357	0.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	67,081			
損益				
経常損益	-1,090,464			
純損益	-768,597			
累積欠損金	5,828,397			
経常収支比率	95.4		101.9	102.5
医業収支比率	89.8		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.9		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,933,885
1 固定資産	24,756,626
(1) 有形固定資産	23,182,755
(2) 無形固定資産	6,029
(3) 投資その他の資産	1,567,842
2 流動資産	9,177,259
(1) 現金及び預金	2,504,837
(2) 未収金及び未収収益	5,220,903
(3) 貸倒引当金( )	34,811
(4) 貯蔵品	486,410
3 繰延資産	-
負債合計	25,428,970
1 固定負債	17,792,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,778,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,955,393
(7) リース債務	58,507
2 流動負債	4,252,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,106,175
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	695,018
(6) リース債務	33,387
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,330,205
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,383,712
(1) 長期前受金	17,473,376
(2) 長期前受金収益化累計額( )	14,089,664
資本合計	8,504,915
1 資本金	12,070,647
2 剰余金	-3,565,732
(1) 資本金剰余金	3,425,195
(2) 利益剰余金	-6,990,927
負債・資本合計	33,933,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.4
修正医業収益(千円)	20,126,941

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,331,674	1,331,674
資本勘定繰入	704,839	704,839
計	2,036,513	2,036,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛知県	
市町村・組合名	岡崎市		
病院名	岡崎市立愛知病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,121 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	感
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	16.0	31.1	-
療養	-	-	-	-
結核	25	13.4	28.4	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	38.5	7.1	-
計	131	16.5	29.7	-
平均在院日数(一般病床のみ)		27.7	18.9	-

設立団体の状況		
人口(人)	384,654	
決算規模(千円)	171,145,370	
標準財政規模(千円)	77,737,003	
財政力指数	1.04	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	29.0
修正医業収益(千円)	220,059

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	737,716			
1 経常収益	718,076			
(1) 医業収益	220,059			
入院収益	180,498			
外来収益	33,689			
診療収入計	214,187			
その他医業収益	5,872			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	498,017			
(うち国・都道府県補助金)	309,382			
(うち他会計補助・負担金)	49,172			
(うち長期前受金戻入)	4,811			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,640			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	817,452			
2 経常費用	785,942			
(1) 医業費用	758,517			
職員給与費	385,660	175.3	62.1	67.4
材料費	24,025	10.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	16,396	7.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,250	3.3	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	341,170	155.0	22.7	29.2
(うち委託料)	157,594	71.6	12.6	13.9
研究研修費	1,654			
資産減耗費	6,008			
(2) 医業外費用	27,425			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	31,510			
損益				
経常損益	-67,866			
純損益	-79,736			
累積欠損金	1,162,530			
経常収支比率	91.4		101.9	100.3
医業収支比率	29.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	85.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,933,885
1 固定資産	24,756,626
(1) 有形固定資産	23,182,755
(2) 無形固定資産	6,029
(3) 投資その他の資産	1,567,842
2 流動資産	9,177,259
(1) 現金及び預金	2,504,837
(2) 未収金及び未収収益	5,220,903
(3) 貸倒引当金( )	34,811
(4) 貯蔵品	486,410
3 繰延資産	-
負債合計	25,428,970
1 固定負債	17,792,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,778,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,955,393
(7) リース債務	58,507
2 流動負債	4,252,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,106,175
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	695,018
(6) リース債務	33,387
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,330,205
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,383,712
(1) 長期前受金	17,473,376
(2) 長期前受金収益化累計額( )	14,089,664
資本合計	8,504,915
1 資本金	12,070,647
2 剰余金	-3,565,732
(1) 資本金剰余金	3,425,195
(2) 利益剰余金	-6,990,927
負債・資本合計	33,933,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	49,172	49,172
資本勘定繰入	-	-
計	49,172	49,172

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名	一宮市			
病院名	一宮市立市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	59,189 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	570	73.9	81.6	80.8
療養	-	-	-	-
結核	18	72.1	64.2	51.7
精神	-	-	-	-
感染症	6	24.2	8.2	-
計	594	73.3	80.3	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.8	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	380,073	
決算規模(千円)	158,320,264	
標準財政規模(千円)	74,858,245	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.5
	将来負担比率(%)	37.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.3
修正医業収益(千円)	19,267,271

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,673,946			
1 経常収益	22,669,233			
(1) 医業収益	19,564,587			
入院収益	12,619,727			
外来収益	6,388,727			
診療収入計	19,008,454			
その他医業収益	556,133			
(うち他会計負担金)	297,316			
(2) 医業外収益	3,104,646			
(うち国・都道府県補助金)	1,796,971			
(うち他会計補助・負担金)	852,617			
(うち長期前受金戻入)	280,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,713			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,781,485			
2 経常費用	22,781,157			
(1) 医業費用	21,346,351			
職員給与費	10,158,790	51.9	62.1	55.8
材料費	6,434,612	32.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,603,847	18.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,817,662	14.4	11.4	13.0
減価償却費	1,919,344	9.8	9.5	8.7
経費	2,789,029	14.3	22.7	19.7
(うち委託料)	1,725,787	8.8	12.6	12.6
研究研修費	41,690			
資産減耗費	2,886			
(2) 医業外費用	1,434,806			
(うち支払利息)	205,885	1.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	328			
損益				
経常損益	-111,924			
純損益	-107,539			
累積欠損金	7,786,851			
経常収支比率	99.5		101.9	102.5
医業収支比率	91.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.5		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,576,214
1 固定資産	22,901,517
(1) 有形固定資産	22,375,262
(2) 無形固定資産	2,219
(3) 投資その他の資産	524,036
2 流動資産	8,674,697
(1) 現金及び預金	3,881,848
(2) 未収金及び未収収益	4,704,089
(3) 貸倒引当金( )	34,360
(4) 貯蔵品	122,545
3 繰延資産	-
負債合計	22,564,760
1 固定負債	18,124,342
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,340,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,019,847
(7) リース債務	763,565
2 流動負債	3,583,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	539,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	741,011
(6) リース債務	374,688
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,835,938
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	856,602
(1) 長期前受金	2,993,022
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,136,420
資本合計	9,011,454
1 資本金	19,188,348
2 剰余金	-10,176,894
(1) 資本剰余金	38,634
(2) 利益剰余金	-10,215,528
負債・資本合計	31,576,214
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,149,933	1,149,933
資本勘定繰入	256,651	256,651
計	1,406,584	1,406,584

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	一宮市				
病院名	一宮市立木曾川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	8,560 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	82	72.8	79.0	77.7
療養	48	94.1	97.6	97.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	80.4	85.4	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.4	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	380,073	
決算規模(千円)	158,320,264	
標準財政規模(千円)	74,858,245	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.5
	将来負担比率(%)	37.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収益(千円)	1,979,554

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,268,616			
1 経常収益	2,268,433			
(1) 医業収益	2,045,776			
入院収益	1,394,448			
外来収益	542,218			
診療収入計	1,936,666			
その他医業収益	109,110			
(うち他会計負担金)	66,222			
(2) 医業外収益	222,657			
(うち国・都道府県補助金)	31,341			
(うち他会計補助・負担金)	153,062			
(うち長期前受金戻入)	23,770			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	183			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,426,099			
2 経常費用	2,425,711			
(1) 医業費用	2,328,174			
職員給与費	1,479,639	72.3	62.1	67.4
材料費	314,062	15.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	201,168	9.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,804	4.2	11.4	8.8
減価償却費	120,534	5.9	9.5	10.7
経費	410,178	20.0	22.7	29.2
(うち委託料)	216,724	10.6	12.6	13.9
研究研修費	2,319			
資産減耗費	1,442			
(2) 医業外費用	97,537			
(うち支払利息)	11,097	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	388			
損益				
経常損益	-157,278			
純損益	-157,483			
累積欠損金	2,428,677			
経常収支比率	93.5		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,576,214
1 固定資産	22,901,517
(1) 有形固定資産	22,375,262
(2) 無形固定資産	2,219
(3) 投資その他の資産	524,036
2 流動資産	8,674,697
(1) 現金及び預金	3,881,848
(2) 未収金及び未収収益	4,704,089
(3) 貸倒引当金( )	34,360
(4) 貯蔵品	122,545
3 繰延資産	-
負債合計	22,564,760
1 固定負債	18,124,342
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,340,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,019,847
(7) リース債務	763,565
2 流動負債	3,583,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	539,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	741,011
(6) リース債務	374,688
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,835,938
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	856,602
(1) 長期前受金	2,993,022
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,136,420
資本合計	9,011,454
1 資本金	19,188,348
2 剰余金	-10,176,894
(1) 資本金剰余金	38,634
(2) 利益剰余金	-10,215,528
負債・資本合計	31,576,214
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,284	219,284
資本勘定繰入	35,874	35,874
計	255,158	255,158

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	半田市				
病院名	半田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,828 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	499	73.1	82.2	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	499	73.1	82.2	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.0	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	117,884	
決算規模(千円)	52,871,903	
標準財政規模(千円)	26,042,591	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	83.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.3
修正医業収益(千円)	12,682,904

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,584,582			
1 経常収益	13,584,582			
(1) 医業収益	12,931,596			
入院収益	8,576,973			
外来収益	3,676,534			
診療収入計	12,253,507			
その他医業収益	678,089			
(うち他会計負担金)	248,692			
(2) 医業外収益	652,986			
(うち国・都道府県補助金)	150,606			
(うち他会計補助・負担金)	233,715			
(うち長期前受金戻入)	187,496			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,440,252			
2 経常費用	13,436,191			
(1) 医業費用	12,642,620			
職員給与費	6,502,004	50.3	62.1	59.8
材料費	3,317,216	25.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,859,797	14.4	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,457,419	11.3	11.4	12.4
減価償却費	787,295	6.1	9.5	8.2
経費	2,004,074	15.5	22.7	19.2
(うち委託料)	1,213,101	9.4	12.6	10.2
研究研修費	17,108			
資産減耗費	14,923			
(2) 医業外費用	793,571			
(うち支払利息)	28,867	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	4,061			
損益				
経常損益	148,391			
純損益	144,330			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		101.9	103.7
医業収支比率	102.3		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	3.6		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	97.5		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,874,835
1 固定資産	9,170,741
(1) 有形固定資産	8,416,497
(2) 無形固定資産	669,140
(3) 投資その他の資産	85,104
2 流動資産	7,704,094
(1) 現金及び預金	4,903,985
(2) 未収金及び未収収益	2,888,031
(3) 貸倒引当金( )	119,193
(4) 貯蔵品	17,785
3 繰延資産	-
負債合計	7,113,686
1 固定負債	4,487,481
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,913,977
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,422,517
(7) リース債務	150,987
2 流動負債	2,171,089
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,221
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,574
(6) リース債務	73,198
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,288,006
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	455,116
(1) 長期前受金	2,181,074
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,725,958
資本合計	9,761,149
1 資本金	9,352,583
2 剰余金	408,566
(1) 資本金剰余金	72,956
(2) 利益剰余金	335,610
負債・資本合計	16,874,835
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	388,365	482,407
資本勘定繰入	617,585	617,585
計	1,005,950	1,099,992

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛知県	
市町村・組合名	春日井市		
病院名	春日井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,338 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 感 災 地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	552	74.1	88.7	87.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	52.6	6.0	-
計	558	73.8	87.8	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.0	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	308,681	
決算規模(千円)	139,447,661	
標準財政規模(千円)	59,811,100	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	23.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.5
修正医業収益(千円)	14,993,367

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,000,521			
1 経常収益	17,000,521			
(1) 医業収益	15,631,231			
入院収益	9,914,947			
外来収益	4,734,682			
診療収入計	14,649,629			
その他医業収益	981,602			
(うち他会計負担金)	637,864			
(2) 医業外収益	1,369,290			
(うち国・都道府県補助金)	587,740			
(うち他会計補助・負担金)	483,187			
(うち長期前受金戻入)	106,310			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,246,804			
2 経常費用	17,244,698			
(1) 医業費用	16,378,075			
職員給与費	8,824,232	56.5	62.1	55.8
材料費	3,685,484	23.6	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,475,497	9.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,209,987	14.1	11.4	13.0
減価償却費	1,050,232	6.7	9.5	8.7
経費	2,759,275	17.7	22.7	19.7
(うち委託料)	1,738,255	11.1	12.6	12.6
研究研修費	37,919			
資産減耗費	20,933			
(2) 医業外費用	866,623			
(うち支払利息)	126,181	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,106			
損益				
経常損益	-244,177			
純損益	-246,283			
累積欠損金	3,496,387			
経常収支比率	98.6		101.9	102.5
医業収支比率	95.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,111,146
1 固定資産	20,769,486
(1) 有形固定資産	20,525,614
(2) 無形固定資産	243,797
(3) 投資その他の資産	75
2 流動資産	11,341,660
(1) 現金及び預金	8,237,094
(2) 未収金及び未収収益	2,935,239
(3) 貸倒引当金( )	54,352
(4) 貯蔵品	223,662
3 繰延資産	-
負債合計	14,202,272
1 固定負債	8,704,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,531,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,050,771
(7) リース債務	121,993
2 流動負債	3,139,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	836,241
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	583,899
(6) リース債務	53,967
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,660,781
(9) 前受金及び前受収益	3,850
3 繰延収益	2,358,101
(1) 長期前受金	6,067,383
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,709,282
資本合計	17,908,874
1 資本金	21,218,926
2 剰余金	-3,310,052
(1) 資本金剰余金	186,335
(2) 利益剰余金	-3,496,387
負債・資本合計	32,111,146
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,290,057	1,121,051
資本勘定繰入	919,018	205,253
計	2,209,075	1,326,304

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	豊川市				
病院名	豊川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,670 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 へ 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	454	77.0	87.0	84.7
療養	-	-	-	-
結核	8	6.5	23.5	32.0
精神	65	61.6	75.7	76.7
感染症	-	-	-	-
計	527	74.0	84.6	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	11.6	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	184,661	
決算規模(千円)	86,530,858	
標準財政規模(千円)	39,985,793	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.6
修正医業収益(千円)	12,536,312

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,468,666			
1 経常収益	15,464,635			
(1) 医業収益	13,209,955			
入院収益	8,301,362			
外来収益	3,890,871			
診療収入計	12,192,233			
その他医業収益	1,017,722			
(うち他会計負担金)	673,643			
(2) 医業外収益	2,254,680			
(うち国・都道府県補助金)	1,046,204			
(うち他会計補助・負担金)	675,366			
(うち長期前受金戻入)	388,356			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,031			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,835,293			
2 経常費用	15,825,155			
(1) 医業費用	15,003,501			
職員給与費	8,182,218	61.9	62.1	55.8
材料費	3,260,269	24.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,508,416	11.4	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,751,853	13.3	11.4	13.0
減価償却費	1,052,596	8.0	9.5	8.7
経費	2,434,955	18.4	22.7	19.7
(うち委託料)	1,521,854	11.5	12.6	12.6
研究研修費	53,830			
資産減耗費	19,633			
(2) 医業外費用	821,654			
(うち支払利息)	21,356	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	10,138			
損益				
経常損益	-360,520			
純損益	-366,627			
累積欠損金	2,103,136			
経常収支比率	97.7		101.9	102.5
医業収支比率	88.0		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.2		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,003,791
1 固定資産	18,751,494
(1) 有形固定資産	15,121,925
(2) 無形固定資産	1,060,079
(3) 投資その他の資産	2,569,490
2 流動資産	6,252,297
(1) 現金及び預金	3,330,000
(2) 未収金及び未収収益	2,849,974
(3) 貸倒引当金( )	27,209
(4) 貯蔵品	99,532
3 繰延資産	-
負債合計	19,885,806
1 固定負債	15,832,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,553,374
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,701,325
(7) リース債務	577,482
2 流動負債	3,515,209
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	954,215
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	530,347
(6) リース債務	27,133
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,975,727
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	538,416
(1) 長期前受金	3,361,478
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,823,062
資本合計	5,117,985
1 資本金	6,487,493
2 剰余金	-1,369,508
(1) 資本金剰余金	733,628
(2) 利益剰余金	-2,103,136
負債・資本合計	25,003,791
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,349,009	1,349,009
資本勘定繰入	403,493	403,493
計	1,752,502	1,752,502

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	津島市				
病院名	津島市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,677 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	352	65.8	73.0	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	352	65.8	73.0	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	17.7	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	60,942	
決算規模(千円)	28,639,635	
標準財政規模(千円)	13,351,507	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	18.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.4
修正医業収益(千円)	7,332,131

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,134,308			
1 経常収益	9,972,087			
(1) 医業収益	7,615,477			
入院収益	5,049,670			
外来収益	2,070,013			
診療収入計	7,119,683			
その他医業収益	495,794			
(うち他会計負担金)	283,346			
(2) 医業外収益	2,356,610			
(うち国・都道府県補助金)	1,437,392			
(うち他会計補助・負担金)	529,106			
(うち長期前受金戻入)	331,586			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	162,221			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,344,819			
2 経常費用	9,182,598			
(1) 医業費用	8,687,895			
職員給与費	5,076,650	66.7	62.1	63.5
材料費	1,636,157	21.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	686,664	9.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	945,259	12.4	11.4	11.8
減価償却費	546,822	7.2	9.5	10.0
経費	1,406,265	18.5	22.7	21.7
(うち委託料)	947,878	12.4	12.6	12.2
研究研修費	9,805			
資産減耗費	12,196			
(2) 医業外費用	494,703			
(うち支払利息)	124,988	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	162,221			
損益				
経常損益	789,489			
純損益	789,489			
累積欠損金	8,180,441			
経常収支比率	108.6		101.9	101.7
医業収支比率	87.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	99.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,096,658
1 固定資産	6,764,838
(1) 有形固定資産	6,602,349
(2) 無形固定資産	323
(3) 投資その他の資産	162,166
2 流動資産	2,331,820
(1) 現金及び預金	485,020
(2) 未収金及び未収収益	1,786,858
(3) 貸倒引当金( )	6,270
(4) 貯蔵品	66,212
3 繰延資産	-
負債合計	14,296,337
1 固定負債	10,261,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,594,205
(2) その他の企業債	357,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	40,662
(5) その他の長期借入金	1,146,667
(6) 引当金	1,941,990
(7) リース債務	180,738
2 流動負債	1,881,930
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	882,261
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	17,913
(4) その他の長期借入金	80,000
(5) 引当金	266,915
(6) リース債務	20,461
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	613,880
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,153,045
(1) 長期前受金	9,113,666
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,960,621
資本合計	-5,199,679
1 資本金	2,948,752
2 剰余金	-8,148,431
(1) 資本金剰余金	30,989
(2) 利益剰余金	-8,179,420
負債・資本合計	9,096,658
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	5,199,679
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,046,634
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	796,909	812,452
資本勘定繰入	537,484	733,626
計	1,334,393	1,546,078

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	碧南市				
病院名	碧南市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,427 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	319	54.3	71.6	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	319	54.3	71.6	72.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	13.7	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	72,458	
決算規模(千円)	38,418,006	
標準財政規模(千円)	19,093,058	
財政力指数	1.21	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,962,252			
1 経常収益	6,961,586			
(1) 医業収益	4,962,646			
入院収益	3,115,169			
外来収益	1,605,206			
診療収入計	4,720,375			
その他医業収益	242,271			
(うち他会計負担金)	112,460			
(2) 医業外収益	1,998,940			
(うち国・都道府県補助金)	1,029,481			
(うち他会計補助・負担金)	874,463			
(うち長期前受金戻入)	22,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	666			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,734,664			
2 経常費用	7,731,759			
(1) 医業費用	7,370,067			
職員給与費	3,924,871	79.1	62.1	63.5
材料費	1,155,247	23.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	648,816	13.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	506,251	10.2	11.4	11.8
減価償却費	768,950	15.5	9.5	10.0
経費	1,481,658	29.9	22.7	21.7
(うち委託料)	983,079	19.8	12.6	12.2
研究研修費	16,457			
資産減耗費	22,884			
(2) 医業外費用	361,692			
(うち支払利息)	8,960	0.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	2,905			
損益				
経常損益	-770,173			
純損益	-772,412			
累積欠損金	10,083,959			
経常収支比率	90.0		101.9	101.7
医業収支比率	67.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	77.3		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,854,816
1 固定資産	7,261,279
(1) 有形固定資産	7,174,229
(2) 無形固定資産	37,469
(3) 投資その他の資産	49,581
2 流動資産	1,593,537
(1) 現金及び預金	225,257
(2) 未収金及び未収収益	1,273,949
(3) 貸倒引当金( )	13,794
(4) 貯蔵品	108,009
3 繰延資産	-
負債合計	4,809,775
1 固定負債	3,037,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,270,537
(2) その他の企業債	582,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,184,887
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,381,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	486,141
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	241,475
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	605,671
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	390,894
(1) 長期前受金	1,489,754
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,098,860
資本合計	4,045,041
1 資本金	14,074,000
2 剰余金	-10,028,959
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-10,028,959
負債・資本合計	8,854,816
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.8
修正医業収益(千円)	4,850,186

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	988,524	986,923
資本勘定繰入	392,439	392,439
計	1,380,963	1,379,362

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	203.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	西尾市				
病院名	西尾市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,176 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	372	60.2	63.2	67.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	372	60.2	63.2	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.9	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	169,046	
決算規模(千円)	76,669,313	
標準財政規模(千円)	37,434,999	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,514,239			
1 経常収益	8,514,239			
(1) 医業収益	6,578,627			
入院収益	3,930,175			
外来収益	2,418,756			
診療収入計	6,348,931			
その他医業収益	229,696			
(うち他会計負担金)	154,802			
(2) 医業外収益	1,935,612			
(うち国・都道府県補助金)	566,288			
(うち他会計補助・負担金)	1,284,518			
(うち長期前受金戻入)	29,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,823,257			
2 経常費用	8,820,660			
(1) 医業費用	8,427,620			
職員給与費	4,714,294	71.7	62.1	63.5
材料費	1,636,233	24.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,053,049	16.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	579,195	8.8	11.4	11.8
減価償却費	512,885	7.8	9.5	10.0
経費	1,531,886	23.3	22.7	21.7
(うち委託料)	1,120,827	17.0	12.6	12.2
研究研修費	11,668			
資産減耗費	20,654			
(2) 医業外費用	393,040			
(うち支払利息)	11,675	0.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	2,597			
損益				
経常損益	-306,421			
純損益	-309,018			
累積欠損金	8,985,241			
経常収支比率	96.5		101.9	101.7
医業収支比率	78.1		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	80.2		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,007,702
1 固定資産	7,793,206
(1) 有形固定資産	7,521,281
(2) 無形固定資産	1,494
(3) 投資その他の資産	270,431
2 流動資産	2,214,496
(1) 現金及び預金	754,375
(2) 未収金及び未収収益	1,413,371
(3) 貸倒引当金( )	4,110
(4) 貯蔵品	40,860
3 繰延資産	-
負債合計	4,959,210
1 固定負債	2,827,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,301,977
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	873,334
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	651,998
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,713,758
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	406,412
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	70,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	301,073
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	595,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	418,143
(1) 長期前受金	1,578,578
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,160,435
資本合計	5,048,492
1 資本金	10,066,850
2 剰余金	-5,018,358
(1) 資本金剰余金	3,966,883
(2) 利益剰余金	-8,985,241
負債・資本合計	10,007,702
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.2
修正医業収益(千円)	6,423,825

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,139,320	1,439,320
資本勘定繰入	181,453	495,926
計	1,320,773	1,935,246

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	蒲郡市				
病院名	蒲郡市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,534 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	382	71.2	81.6	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	382	71.2	81.6	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.5	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	79,538	
決算規模(千円)	42,543,387	
標準財政規模(千円)	17,745,536	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,327,161			
1 経常収益	9,326,117			
(1) 医業収益	7,066,131			
入院収益	4,706,399			
外来収益	2,017,906			
診療収入計	6,724,305			
その他医業収益	341,826			
(うち他会計負担金)	130,630			
(2) 医業外収益	2,259,986			
(うち国・都道府県補助金)	1,328,229			
(うち他会計補助・負担金)	862,780			
(うち長期前受金戻入)	13,261			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,044			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,796,492			
2 経常費用	8,796,492			
(1) 医業費用	8,258,073			
職員給与費	4,444,347	62.9	62.1	63.5
材料費	1,718,076	24.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	947,479	13.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	767,989	10.9	11.4	11.8
減価償却費	538,723	7.6	9.5	10.0
経費	1,535,603	21.7	22.7	21.7
(うち委託料)	977,275	13.8	12.6	12.2
研究研修費	15,583			
資産減耗費	5,741			
(2) 医業外費用	538,419			
(うち支払利息)	125,328	1.8	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	529,625			
純損益	530,669			
累積欠損金	13,668,945			
経常収支比率	106.0		101.9	101.7
医業収支比率	85.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.7		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,341,204
1 固定資産	9,252,448
(1) 有形固定資産	9,128,737
(2) 無形固定資産	2,954
(3) 投資その他の資産	120,757
2 流動資産	2,088,756
(1) 現金及び預金	576,594
(2) 未収金及び未収収益	1,462,899
(3) 貸倒引当金( )	10,172
(4) 貯蔵品	59,435
3 繰延資産	-
負債合計	7,645,130
1 固定負債	5,334,312
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,723,879
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,597,177
(7) リース債務	13,256
2 流動負債	1,832,049
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	888,933
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	279,660
(6) リース債務	7,214
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	656,241
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	478,769
(1) 長期前受金	1,102,680
(2) 長期前受金収益化累計額( )	623,911
資本合計	3,696,074
1 資本金	17,300,150
2 剰余金	-13,604,076
(1) 資本金剰余金	64,869
(2) 利益剰余金	-13,668,945
負債・資本合計	11,341,204
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.0
修正医業収益(千円)	6,935,501

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	993,410	993,410
資本勘定繰入	584,882	521,800
計	1,578,292	1,515,210

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	107,498	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	193.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	常滑市				
病院名	常滑市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,131 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	264	64.6	77.5	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	266	64.1	76.9	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	15.3	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	58,710	
決算規模(千円)	37,923,488	
標準財政規模(千円)	14,363,471	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	121.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,240,656			
1 経常収益	7,200,704			
(1) 医業収益	5,111,153			
入院収益	2,910,799			
外来収益	1,693,345			
診療収入計	4,604,144			
その他医業収益	507,009			
(うち他会計負担金)	114,874			
(2) 医業外収益	2,089,551			
(うち国・都道府県補助金)	1,314,985			
(うち他会計補助・負担金)	638,328			
(うち長期前受金戻入)	59,923			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,952			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,698,226			
2 経常費用	7,000,744			
(1) 医業費用	6,433,405			
職員給与費	3,723,185	72.8	62.1	66.1
材料費	970,783	19.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	566,492	11.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	403,482	7.9	11.4	9.3
減価償却費	613,309	12.0	9.5	10.2
経費	1,113,779	21.8	22.7	28.2
(うち委託料)	693,237	13.6	12.6	13.6
研究研修費	9,539			
資産減耗費	2,810			
(2) 医業外費用	567,339			
(うち支払利息)	68,401	1.3	1.3	1.6
(3) 特別損失	697,482			
損益				
経常損益	199,960			
純損益	-457,570			
累積欠損金	10,847,712			
経常収支比率	102.9		101.9	99.9
医業収支比率	79.4		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,450,600
1 固定資産	11,504,483
(1) 有形固定資産	11,407,669
(2) 無形固定資産	18,949
(3) 投資その他の資産	77,865
2 流動資産	2,946,117
(1) 現金及び預金	1,400,569
(2) 未収金及び未収収益	1,516,660
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	28,888
3 繰延資産	-
負債合計	11,467,966
1 固定負債	8,080,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,838,320
(2) その他の企業債	1,024,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,217,814
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,465,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	274,809
(2) その他の企業債	19,500
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	243,263
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	894,901
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,922,084
(1) 長期前受金	2,249,470
(2) 長期前受金収益化累計額( )	327,386
資本合計	2,982,634
1 資本金	13,736,222
2 剰余金	-10,753,588
(1) 資本金剰余金	94,124
(2) 利益剰余金	-10,847,712
負債・資本合計	14,450,600
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.7
修正医業収益(千円)	4,996,279

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	524,213	753,202
資本勘定繰入	146,798	146,798
計	671,011	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	212.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	小牧市				
病院名	小牧市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	55,322 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	520	78.9	86.5	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	78.9	86.5	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.2	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	148,831	
決算規模(千円)	76,583,801	
標準財政規模(千円)	36,124,172	
財政力指数	1.25	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	19,508,773

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,237,398			
1 経常収益	23,064,488			
(1) 医業収益	19,657,033			
入院収益	12,101,949			
外来収益	6,741,340			
診療収入計	18,843,289			
その他医業収益	813,744			
(うち他会計負担金)	148,260			
(2) 医業外収益	3,407,455			
(うち国・都道府県補助金)	1,515,900			
(うち他会計補助・負担金)	572,610			
(うち長期前受金戻入)	1,135,316			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	172,910			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,351,488			
2 経常費用	23,687,045			
(1) 医業費用	22,516,974			
職員給与費	9,849,039	50.1	62.1	55.8
材料費	6,311,281	32.1	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,341,756	17.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,969,525	15.1	11.4	13.0
減価償却費	2,758,831	14.0	9.5	8.7
経費	3,549,297	18.1	22.7	19.7
(うち委託料)	2,557,271	13.0	12.6	12.6
研究研修費	28,606			
資産減耗費	19,920			
(2) 医業外費用	1,170,071			
(うち支払利息)	105,159	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	664,443			
損益				
経常損益	-622,557			
純損益	-1,114,090			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.4		101.9	102.5
医業収支比率	87.3		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	3.1		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.3		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,439,331
1 固定資産	32,907,101
(1) 有形固定資産	30,535,541
(2) 無形固定資産	1,367,751
(3) 投資その他の資産	1,003,809
2 流動資産	15,532,230
(1) 現金及び預金	10,631,795
(2) 未収金及び未収収益	4,581,622
(3) 貸倒引当金( )	36,182
(4) 貯蔵品	256,245
3 繰延資産	-
負債合計	29,333,015
1 固定負債	20,726,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,555,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,231,444
(7) リース債務	938,973
2 流動負債	3,716,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,583,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	593,401
(6) リース債務	121,026
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,338,867
(9) 前受金及び前受収益	90
3 繰延収益	4,890,422
(1) 長期前受金	7,948,575
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,058,153
資本合計	19,106,316
1 資本金	15,358,633
2 剰余金	3,773,084
(1) 資本金剰余金	380,358
(2) 利益剰余金	3,392,726
負債・資本合計	48,439,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,235	720,870
資本勘定繰入	953,068	987,147
計	1,669,303	1,708,017

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	稲沢市				
病院名	稲沢市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,142 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	320	49.8	57.8	59.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	49.8	57.8	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	14.1	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	134,751	
決算規模(千円)	65,353,923	
標準財政規模(千円)	29,114,831	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	3.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	5,187,343

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,888,893			
1 経常収益	7,888,893			
(1) 医業収益	5,276,308			
入院収益	3,440,583			
外来収益	1,563,528			
診療収入計	5,004,111			
その他医業収益	272,197			
(うち他会計負担金)	88,965			
(2) 医業外収益	2,612,585			
(うち国・都道府県補助金)	1,686,827			
(うち他会計補助・負担金)	483,220			
(うち長期前受金戻入)	336,206			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,126,325			
2 経常費用	7,126,325			
(1) 医業費用	6,726,140			
職員給与費	3,649,514	69.2	62.1	63.5
材料費	1,055,699	20.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	396,480	7.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	658,797	12.5	11.4	11.8
減価償却費	793,954	15.0	9.5	10.0
経費	1,206,568	22.9	22.7	21.7
(うち委託料)	832,515	15.8	12.6	12.2
研究研修費	17,602			
資産減耗費	2,803			
(2) 医業外費用	400,185			
(うち支払利息)	83,412	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	762,568			
純損益	762,568			
累積欠損金	2,375,349			
経常収支比率	110.7		101.9	101.7
医業収支比率	78.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	102.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,909,761
1 固定資産	8,967,308
(1) 有形固定資産	8,696,781
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	270,527
2 流動資産	2,942,453
(1) 現金及び預金	1,082,986
(2) 未収金及び未収収益	1,820,201
(3) 貸倒引当金( )	1,619
(4) 貯蔵品	40,885
3 繰延資産	-
負債合計	9,973,331
1 固定負債	7,376,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,584,523
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	500,000
(6) 引当金	1,292,128
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,303,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	388,555
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	212,264
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	674,069
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,292,691
(1) 長期前受金	4,384,672
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,091,981
資本合計	1,936,430
1 資本金	3,727,254
2 剰余金	-1,790,824
(1) 資本金剰余金	165,477
(2) 利益剰余金	-1,956,301
負債・資本合計	11,909,761
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	561,029	572,185
資本勘定繰入	279,842	301,847
計	840,871	874,032

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	新城市				
病院名	新城市市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	24,006 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	48.7	52.8	54.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	48.7	52.8	54.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	15.5	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	44,355	
決算規模(千円)	29,218,593	
標準財政規模(千円)	14,924,338	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	62.6

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,691,599			
1 経常収益	3,663,274			
(1) 医業収益	2,708,679			
入院収益	1,516,433			
外来収益	991,406			
診療収入計	2,507,839			
その他医業収益	200,840			
(うち他会計負担金)	5,400			
(2) 医業外収益	954,595			
(うち国・都道府県補助金)	254,120			
(うち他会計補助・負担金)	548,400			
(うち長期前受金戻入)	110,317			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,325			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,637,497			
2 経常費用	3,637,497			
(1) 医業費用	3,469,169			
職員給与費	2,156,996	79.6	62.1	67.4
材料費	413,256	15.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	201,692	7.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,342	7.1	11.4	8.8
減価償却費	280,362	10.4	9.5	10.7
経費	607,799	22.4	22.7	29.2
(うち委託料)	360,364	13.3	12.6	13.9
研究研修費	7,594			
資産減耗費	3,162			
(2) 医業外費用	168,328			
(うち支払利息)	41,341	1.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	25,777			
純損益	54,102			
累積欠損金	2,800,592			
経常収支比率	100.7		101.9	100.3
医業収支比率	78.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	85.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	6,663,217
1 固定資産	3,537,572
(1) 有形固定資産	3,157,048
(2) 無形固定資産	9,132
(3) 投資その他の資産	371,392
2 流動資産	3,125,645
(1) 現金及び預金	2,353,076
(2) 未収金及び未収収益	733,832
(3) 貸倒引当金( )	1,350
(4) 貯蔵品	40,087
3 繰延資産	-
負債合計	2,926,223
1 固定負債	1,697,478
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	867,305
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	812,555
(7) リース債務	17,618
2 流動負債	863,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	383,875
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,333
(6) リース債務	5,914
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	296,940
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	364,989
(1) 長期前受金	2,023,819
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,658,830
資本合計	3,736,994
1 資本金	6,408,810
2 剰余金	-2,671,816
(1) 資本金剰余金	2,593
(2) 利益剰余金	-2,674,409
負債・資本合計	6,663,217
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	2,703,279

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	553,800	553,800
資本勘定繰入	254,620	327,158
計	808,420	880,958

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛知県	
市町村・組合名	知多市		
病院名	知多市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	84,364	
決算規模(千円)	36,678,675	
標準財政規模(千円)	17,733,947	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.6
	将来負担比率(%)	21.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,717			
1 経常収益	13,717			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,717			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13,717			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,717			
2 経常費用	13,717			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,717			
(うち支払利息)	13,717	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,858	13,717
資本勘定繰入	16,371	32,741
計	23,229	46,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		愛知県	
市町村・組合名	高浜市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	46,106	
決算規模(千円)	22,801,476	
標準財政規模(千円)	9,601,979	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.1
	将来負担比率(%)	18.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,714			
1 経常収益	9,714			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,714			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	9,714			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,714			
2 経常費用	9,714			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,714			
(うち支払利息)	9,714	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,476	9,714
資本勘定繰入	34,819	52,229
計	41,295	61,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	みよし市				
病院名	みよし市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,751 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	68	66.0	81.4	82.9
療養	54	77.5	84.9	84.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	71.1	82.9	83.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.5	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	61,952	
決算規模(千円)	31,684,958	
標準財政規模(千円)	17,672,044	
財政力指数	1.40	
経常収支比率(%)	81.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,893,692			
1 経常収益	2,887,469			
(1) 医業収益	2,055,478			
入院収益	895,943			
外来収益	867,135			
診療収入計	1,763,078			
その他医業収益	292,400			
(うち他会計負担金)	107,981			
(2) 医業外収益	831,991			
(うち国・都道府県補助金)	83,635			
(うち他会計補助・負担金)	583,958			
(うち長期前受金戻入)	151,286			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,223			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,935,076			
2 経常費用	2,933,730			
(1) 医業費用	2,770,569			
職員給与費	1,439,887	70.1	62.1	67.4
材料費	476,381	23.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	348,646	17.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,220	5.3	11.4	8.8
減価償却費	256,181	12.5	9.5	10.7
経費	591,552	28.8	22.7	29.2
(うち委託料)	348,754	17.0	12.6	13.9
研究研修費	3,382			
資産減耗費	3,186			
(2) 医業外費用	163,161			
(うち支払利息)	32,742	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,346			
損益				
経常損益	-46,261			
純損益	-41,384			
累積欠損金	40,007			
経常収支比率	98.4		101.9	100.3
医業収支比率	74.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	33.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	74.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,448,729
1 固定資産	3,460,985
(1) 有形固定資産	3,458,564
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	2,300
2 流動資産	987,744
(1) 現金及び預金	220,999
(2) 未収金及び未収収益	755,216
(3) 貸倒引当金( )	4,505
(4) 貯蔵品	16,034
3 繰延資産	-
負債合計	3,035,120
1 固定負債	1,833,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,699,554
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	134,214
(7) リース債務	-
2 流動負債	499,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	186,831
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	92,474
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	220,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	701,635
(1) 長期前受金	4,007,458
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,305,823
資本合計	1,413,609
1 資本金	956,315
2 剰余金	457,294
(1) 資本金剰余金	381,280
(2) 利益剰余金	76,014
負債・資本合計	4,448,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.3
修正医業収益(千円)	1,947,497

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	691,939	691,939
資本勘定繰入	270,443	368,417
計	962,382	1,060,356

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				愛知県	
市町村・組合名	あま市				
病院名	あま市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,927 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	180	62.1	48.8	31.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	62.1	48.8	31.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	17.0	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	86,126	
決算規模(千円)	41,739,010	
標準財政規模(千円)	18,424,835	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	40.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	847,765			
1 経常収益	841,271			
(1) 医業収益	119,093			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	119,093			
(うち他会計負担金)	89,032			
(2) 医業外収益	722,178			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	368,667			
(うち長期前受金戻入)	296,404			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,494			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	963,011			
2 経常費用	962,862			
(1) 医業費用	836,521			
職員給与費	26,299	22.1	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	402,472	337.9	9.5	10.7
経費	407,064	341.8	22.7	29.2
(うち委託料)	11,489	9.6	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	686	-	-	-
(2) 医業外費用	126,341			
(うち支払利息)	80,916	67.9	1.3	1.5
(3) 特別損失	149			
損益				
経常損益	-121,591			
純損益	-115,246			
累積欠損金	2,456,909			
経常収支比率	87.4		101.9	100.3
医業収支比率	14.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	54.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	384.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	54.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	39.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,641,307
1 固定資産	7,321,932
(1) 有形固定資産	6,874,128
(2) 無形固定資産	2,009
(3) 投資その他の資産	445,795
2 流動資産	319,375
(1) 現金及び預金	318,194
(2) 未収金及び未収収益	2,015
(3) 貸倒引当金( )	834
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,160,179
1 固定負債	7,242,677
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,242,677
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	419,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	407,824
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,406
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,108
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	497,749
(1) 長期前受金	1,380,950
(2) 長期前受金収益化累計額( )	883,201
資本合計	-518,872
1 資本金	1,938,037
2 剰余金	-2,456,909
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,456,909
負債・資本合計	7,641,307
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	518,872
資本不足額(繰延収益控除後)( )	21,123
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	3.6
修正医業収益(千円)	30,061

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	151,699	457,699
資本勘定繰入	162,174	176,607
計	313,873	634,306

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2063.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名	公立陶生病院組合			
病院名	公立陶生病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	66,673 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	602	83.0	91.6	88.4
療養	-	-	-	-
結核	25	48.0	51.9	50.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	4.2	7.0	-
計	633	80.9	89.2	86.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.4	11.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.7
修正医業収支(千円)	21,867,172

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,069,268			
1 経常収益	25,956,627			
(1) 医業収益	22,280,132			
入院収益	12,561,853			
外来収益	8,831,060			
診療収入計	21,392,913			
その他医業収益	887,219			
(うち他会計負担金)	412,960			
(2) 医業外収益	3,676,495			
(うち国・都道府県補助金)	1,144,117			
(うち他会計補助・負担金)	1,163,213			
(うち長期前受金戻入)	1,049,890			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	112,641			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,691,832			
2 経常費用	25,691,366			
(1) 医業費用	24,119,789			
職員給与費	11,142,815	50.0	62.1	55.8
材料費	6,661,730	29.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,262,102	19.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,387,309	10.7	11.4	13.0
減価償却費	2,284,630	10.3	9.5	8.7
経費	3,857,398	17.3	22.7	19.7
(うち委託料)	2,518,464	11.3	12.6	12.6
研究研修費	43,246			
資産減耗費	129,970			
(2) 医業外費用	1,571,577			
(うち支払利息)	220,852	1.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	466			
損益				
経常損益	265,261			
純損益	377,436			
累積欠損金	1,202,075			
経常収支比率	101.0		101.9	102.5
医業収支比率	92.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.9		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,407,277
1 固定資産	30,348,159
(1) 有形固定資産	28,732,820
(2) 無形固定資産	3,152
(3) 投資その他の資産	1,612,187
2 流動資産	9,059,118
(1) 現金及び預金	4,286,187
(2) 未収金及び未収収益	4,534,312
(3) 貸倒引当金( )	52,937
(4) 貯蔵品	288,389
3 繰延資産	-
負債合計	36,711,383
1 固定負債	28,336,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,763,635
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,473,955
(7) リース債務	99,350
2 流動負債	4,683,312
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,757,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712,141
(6) リース債務	56,313
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,075,551
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,691,131
(1) 長期前受金	16,612,127
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,920,996
資本合計	2,695,894
1 資本金	1,003,007
2 剰余金	1,692,887
(1) 資本金剰余金	2,400,185
(2) 利益剰余金	-707,298
負債・資本合計	39,407,277
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,576,173	1,576,173
資本勘定繰入	1,502,754	1,228,577
計	3,078,927	2,804,750

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				愛知県
市町村・組合名	西知多医療厚生組合(事業会計分)			
病院名	西知多総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	44,291 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	32	指定病院の状況	救臨 災地 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	468	70.8	69.7	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	468	70.8	69.7	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.4	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収益(千円)	10,706,472

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,059,774			
1 経常収益	14,785,146			
(1) 医業収益	11,147,442			
入院収益	7,082,173			
外来収益	2,961,939			
診療収入計	10,044,112			
その他医業収益	1,103,330			
(うち他会計負担金)	440,970			
(2) 医業外収益	3,637,704			
(うち国・都道府県補助金)	1,729,124			
(うち他会計補助・負担金)	1,360,210			
(うち長期前受金戻入)	420,049			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	274,628			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,657,521			
2 経常費用	13,593,009			
(1) 医業費用	13,142,686			
職員給与費	6,802,746	61.0	62.1	59.8
材料費	2,474,588	22.2	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,205,243	10.8	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,253,152	11.2	11.4	12.4
減価償却費	1,368,087	12.3	9.5	8.2
経費	2,467,112	22.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,834,530	16.5	12.6	10.2
研究研修費	29,651			
資産減耗費	502			
(2) 医業外費用	450,323			
(うち支払利息)	7,124	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	64,512			
損益				
経常損益	1,192,137			
純損益	1,402,253			
累積欠損金	4,168,829			
経常収支比率	108.8		101.9	103.7
医業収支比率	84.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	95.5		89.3	93.1

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,967,871
1 固定資産	13,815,857
(1) 有形固定資産	12,952,286
(2) 無形固定資産	21,843
(3) 投資その他の資産	841,728
2 流動資産	3,152,014
(1) 現金及び預金	522,566
(2) 未収金及び未収収益	2,506,838
(3) 貸倒引当金( )	18,386
(4) 貯蔵品	138,359
3 繰延資産	-
負債合計	16,664,016
1 固定負債	13,527,414
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,689,586
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	837,828
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,940,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	746,519
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	372,370
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	763,728
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,196,134
(1) 長期前受金	2,002,639
(2) 長期前受金収益化累計額( )	806,505
資本合計	303,855
1 資本金	4,394,204
2 剰余金	-4,090,349
(1) 資本金剰余金	78,480
(2) 利益剰余金	-4,168,829
負債・資本合計	16,967,871
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,666,380	1,801,180
資本勘定繰入	367,770	368,820
計	2,034,150	2,170,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。